

Google Earthを用いた荒廃農地の可視化手法

研究のポイント

荒廃農地の発生・解消状況に関する調査(荒廃農地調査)で把握された荒廃農地をGoogle Earthを用いて効果的に可視化する手法を開発し、そのマニュアルをインターネットで公開しました。

研究の背景

荒廃農地の再生利用の推進を図るため、荒廃農地調査(農林水産省農村振興局)が市町村と農業委員会により毎年実施され、荒廃農地の所在(大字・地番)が一筆毎に把握されています。

手法の概要

- 地番図の筆データの属性テーブルに荒廃農地調査の個票データを所在情報に基づいて結合させて荒廃農地の筆を抽出し、そのGISデータをKMZファイルとして出力します(図1)。
- Google Earthには、①無料かつ操作が容易、②撮影時期の新しい航空写真画像が広範囲に掲載、③ストリートビュー機能で現地写真(図2)が表示可能、といった多くの長所があります。
- 荒廃農地のKMZファイルをGoogle Earthで開いて荒廃農地を可視化(図3)すると、荒廃状況の確認や荒廃農地調査データの正誤チェック等を行うことができます。

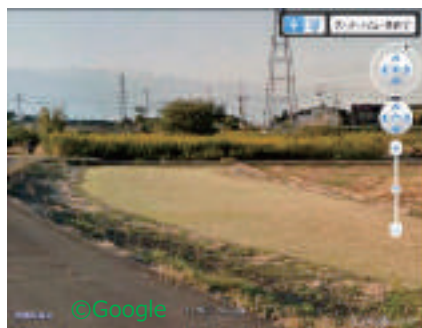


図2 ストリートビュー写真

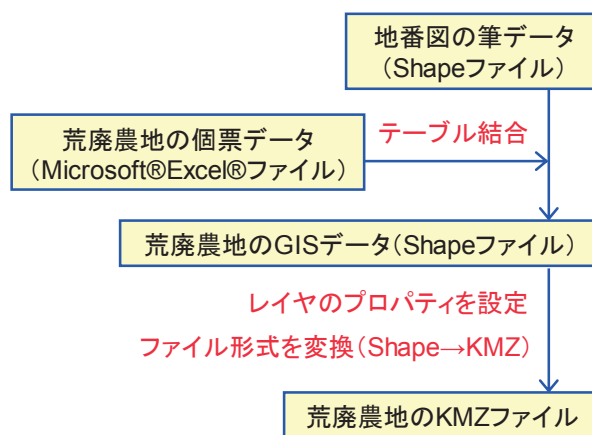


図1 荒廃農地のKMZファイルの作成方法



※2016年の調査で把握された荒廃農地(水色の区画)と農地台帳に所在が記載されている筆(黄色の区画)を同年10月に撮影された航空写真に重ねて表示

図3 Google Earthを用いた荒廃農地の可視化